

モルモットが家にやってきたら…

かわいいモルモットがおうちにやってきたら、早くふれあい可愛がってあげたいことでしょう。でも、モルモットは初めての場所、初めての人に出会って緊張状態です。おうちにお迎えをしたら、しばらくはそっと見守りながら、環境が安全であることをゆっくりと確認させてあげて下さい。環境に慣れ始めても、だっこを強要しないようにして下さい。外敵に弱いモルモットにとって、急に捕まえられる事は大変なストレスになります。優しく声をかけながら、だんだんと触れ合う時間を増やしていくようにしましょう。

しつけと称して、叩いたり、罰を与えないで下さい。モルモットは「叱るしつけ」には向かない生き物です。体が小さく、ストレスに弱いモルモットにとって、強い衝撃は体に影響が大きすぎ、罰を与えることで人を嫌い、更に臆病な性格になる恐れがあります。おうちのルールは叱って教えるのではなく、臭い等で誘導したり、興味を示さないように、はじめから取り除いておくように心がけましょう。



モルモットと接する時の注意



むやみにモルモットを驚かせない

モルモットはとても臆病な生き物です。近くで大声や大きな物音を立てたり追い回したり、突然つかんだりしないようにして下さい。触れるときは優しく、乱暴に扱わないように心がけて下さい。また、ゆっくり眠っている時は邪魔をしないようにしてあげましょう。



触ったりお世話をする前後に手を洗う

モルモットと一緒に暮らしていても、人間とは違う生き物です。いくら仲良しでも、人から病気の原因をもらってしまったり、お世話する人や周りの人に影響を与えてしまう場合があります。モルモットの環境は不衛生にならないように気を付け、触れる前後に手洗いを忘れないようにしましょう。



事故に注意する

モルモットの行動範囲に、危険なものや場所が無いかに注意して下さい。害となる植物やコンセントや電源プラグなどは、ガードしておくか撤去して、イタズラできないように工夫して下さい。脱走してしまう場合を考え、出入り口にナスカンなどをはめておいたり、思わぬ隙間に入り込まないようにガードしておくなど、事故にあわない様に注意しましょう。

●たいせつなお願い●

— モルモットは生きています —

モルモットを飼うときはその命が終わるまで、飼い主としての責任と愛情をもって飼育して下さい。全てのモルモットが、常に健康で人間の思い通りになるわけではありません。飼い主のわがままから途中で見放したり、世話を怠らないようにしましょう。その為にも飼育する生き物の生態について飼い主がよく理解しておくことが、とても大切です。

飼育用品は数多く販売されていますが、全てをカバー出来る物ではありません。生き物は予測不可能な行動をするときがあります。その用品が自分が飼育しているモルモットに合っているか見極め、事故が起こる前に対応してあげるのも飼い主の責任です。飼育書や図鑑などで自身の知識を深めることや、主治医を見つけておくことも必要です。



Small Animal Products
株式会社 三晃商会
〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54
TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com



もこもこ★モルモット

こんもりモコモコとした体つきとユニークな顔立ちで、
見ているだけでも穏やかな気持ちにさせてくれるモルモット達。
かわいいモルモットとの生活を始めるために、必要な事柄を
考えて行きましょう!



モルモットは、優しい性格で、とっても臆病。
内側に秘めた好奇心を花開かせるのはあなたです。
彼らの生活や生態をよく考えて接し、安心して快適に
過ごせる環境を提供すれば、ユーモラスで愛らしい
様々な姿をたっぷりと見せてくれることでしょう。

SANKO

モルモットとは？

ペットとして繁殖されているモルモットは、すでに野生種は存在していません。「モルモット」という名前は日本だけで呼ばれているもので、日本にモルモットが渡った時の誤解から定着した名前ようです。英語圏では「ギニアビッグ(Guinea Pig)」と呼ばれています。また、愛好家の間では「ケイビー(Cavy)」と愛称されているそうです。ペットとしての歴史が長く、色々な品種が存在しています。毛の色もたくさんあり、長毛や巻き毛、中には体毛がほとんど無いものも… 飼う前に、どんな特性のモルモットをお世話するのか考えておきましょう。



モルモットの住まい

敵への武器や対抗能力が少なく、注意深く周りを警戒する事で生き抜いてきたモルモット達は一般的に臆病な性格です。飼育するときは、ストレスを和らげてあげることが一番重要です。元々は夜行性で、夕方から夜にかけての時間が一番活動する時間になります。まず、初めて飼うために必要な、基本的な用品を用意します。ポイントは、モルモットが快適に過ごせる事と、できるだけ世話がしやすい構造をしている物を選ぶようにしましょう。

飼育容器

ケージは用品を置いて、ゆったりと過ごせるの広さがある物を選びます。

モルモットは汚し屋さん。排泄を頻繁にするため、敷材や汚れを取り除きやすい構造のものが良いでしょう。また、あまり湿度がこもる状態や毛がいつも濡れてしまう状態はモルモットの健康上良くありません。敷き材は早めに取替え、清潔な状態が保てるようにしましょう。

敷材

モルモットの足裏は小さく軟らかいので床には敷き藁や木製チップを敷いたり、スノコを敷いてあげましょう。



飼育容器は風通しが良い、直射日光の当たらない場所に置きます。暑すぎない・寒すぎない快適な場所で飼育するようにしましょう。暖房の熱やエアコンの風が直接当たる場所に置かないようにします。また、モルモットは大きな音や物影に驚いてしまう事が多いので、人の行き来が頻繁にある場所は避け、静かな場所に設置しましょう。

食器

いつでも新鮮な水が飲めるように給水ボトルを用意します。少し大きめの物が良いでしょう。

フード用の食器はかじられにくく、倒しづらい重量感のある陶器製が良いでしょう。



ハウス

モルモットが安心して身を隠せるハウスを用意します。体がスッポリと隠れ、ゆったり休める大きさにしましょう。



モルモットの食事

モルモットは草食性の生き物で、食事はペレットと牧草を中心に与えます。食事の内容で気をつけることとしては、モルモットは人間と同様に体内でビタミンCを作ることができないので毎日の食事から摂取できるように心がけて下さい。

ペレット

ペレットフードは必要な栄養を手軽に与えることができます。モルモットの専用フードには、ほかの草食動物のフードでは足りない栄養も含まれています。モルモットの専用フードには、ビタミンCが入っている物が多いのですが、ビタミンCは壊れやすい物質なので、フードの保存は出来るだけ密閉し、早めに使い切れる量を用意するように心がけて下さい。



牧草

草食動物であるモルモットにとって、牧草は大事な食事の1つです。繊維が豊富なので何でも噛む事で伸び続ける歯を削り、消化する過程で腸の状態を整える効果もあります。いつでも食べられるように、ケージに入れておきましょう。

アルファルファ牧草は栄養価が高いので、ベビーや成長期のモルモットに向いています。チモシー牧草は、すべてのモルモットに最適な牧草です。



副食

補助的に野菜や果物等を与える時は、モルモットが安全に食用できる種類を選ぶようにして下さい。一般的に市販の野菜や果物は人間が食用にしやすいように品種改良され、糖分や水分が過剰に含まれているものがたくさんあり、与える種類や量には注意が必要です。草食の小動物用として用意されている、乾燥野草やフルーツ等は手軽に食事の幅を広げる為に有効です。



サプリメント

モルモットは食事ではビタミンCの摂取が必要です。不足が気になる時などに、ビタミンCをはじめ、色々な効果が期待できるサプリメントを体調に合わせて使用してあげるとよいでしょう。ただ、サプリメントそのものは、食事にはなりません。基本的なフードや牧草を適正量を与えた上で、補助的に利用するようにして下さい。



食事は、古くならないように、毎日食べ残しを取替えましょう。野菜やペレットはなるべく新しいものを購入し、鮮度があるうちに使ってしまうように注意します。

モルモットに食べさせてはいけないもの

副食やおやつとして、専用フードや牧草以外のものを与える時は、モルモットが食べても良いものか確かめてから与える様にして下さい。モルモットが食べてはいけないものは、人間の生活のまわりに、たくさんあるという事を知り、安全性が判断できないものは与えないで下さい。

また、人間用に加工されている食べものは、モルモットに与えないようにして下さい。「ちょっとだけなら・・・」そのちょっとはモルモットにとって、とても危険です。

人間が食べられても、モルモットに毒性がある食べものがとても多いことを知って下さい。食べられる物でも部位によって毒性があるもの、モルモットの体に良く無いものがあります。食べものだけでなく、観葉植物や家の草花の中にも、食べてしまうと危険なものがあります。モルモットはそれが食べても良いものかどうかを自分で判断する事はできません。